



### バルコニーに紫外線カットの屋根をつける ほどよい日差しと外気を楽しむ空間

Kさんが新居で叶えたかったことのひとつが、ガレージの上全体をバルコニーにすること。そこに、紫外線をカットする透明の屋根をつけ、広々と快適な半屋外空間を実現。高めの手すりで、周囲からの視線もカットした



### 天井の低さが心を落ち着かせる 屋根裏部屋は妻の空間

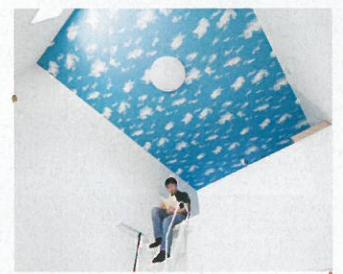
K邸では、家族一人ひとりに個室を確保。童話に出てきそうな斜め天井の屋根裏部屋が妻の個室。天井が低いからこそ、ひとりで過ごすのにぴったりの心落ち着く空間に。趣味を思う存分反映させて、クロスは甘い花柄をチョイス



白い塗り壁やアールの垂れ壁のポーチ……外観も家の中と同じ南欧風に仕上げたK邸。ガレージの上を全面バルコニーにして、2階に半屋外のプライベートスペースを確保

**[DATA]**

- 本体工事費／1842万円
- 家族構成／夫（44歳）妻（48歳）  
長女（17歳）長男（15歳）
- 敷地面積／87.32m<sup>2</sup>
- 延床面積／102.88m<sup>2</sup>  
1階面積／52.25m<sup>2</sup> 2階面積／50.63m<sup>2</sup>
- 工法・構造／木造軸組工法・2階建て
- 設計・施工／ハウスアップ



### コストダウン 安価なクロスで 青空広がるロフト

長男の部屋にもロフトをつくり、その天井に青空の柄のクロスを張ることで、より広々と開放的な印象に。コストを抑えるため、2階は全室クロスで仕上げたが、クロスだからこそできる大胆な仕上がりを存分に楽しんでいる



### 高い天井が、空間を 広く見せる子ども部屋

2階の子ども部屋は屋根裏まで天井を延ばし、4畳半とは思えない開放感を実現。広いロフトを寝室として使っているので、ベッドを置かずに済む。また、収納がたっぷり確保されているため室内はいつもすっきり



### タイルを使って 南欧風のアプローチに

ラフな仕上がりのタイルが、温もり感を醸し出すK邸の玄関まわり。重厚な木の扉や白い塗り壁など、南欧風の雰囲気は、すでにここから始まっている。天井を高くし、右手壁面のニッチで奥行きを出すことで、玄関ホールをより広く見せている

### 2色のクロスで描いた円が 和室を大胆に彩る

客間としてつくった和室は、引き戸を閉めれば独立した個室に。洋風の住まいになじむよう、縁のない畳を使うなどしてモダンに仕上げた。2色の壁紙を組み合わせて描いた曲線が、天井をより高く感じさせる



### 壁の厚みを利用して 小さなニッチをつくり 小物を飾って楽しむ

広さが限られたトイレは、ともすれば機能性だけを追求しがち。K邸では、壁の厚みを利用した小さなニッチを3つ並べてつくり、飾ったり眺めたりする楽しみをプラスした。壁の厚さに収まっているため、動作の邪魔にもならない



### 廊下とキッチンを仕切る腰高の壁は モザイクタイルとニッチで飾って

妻のSさんがこだわったのは、キッチンの開放感。ダイニングとの間は吊り収納をつくらず、廊下との間の壁は腰までの高さに抑えた。その壁の奥行きを利用して飾り棚をつくり、モザイクタイルで仕上げて空間のアクセントに

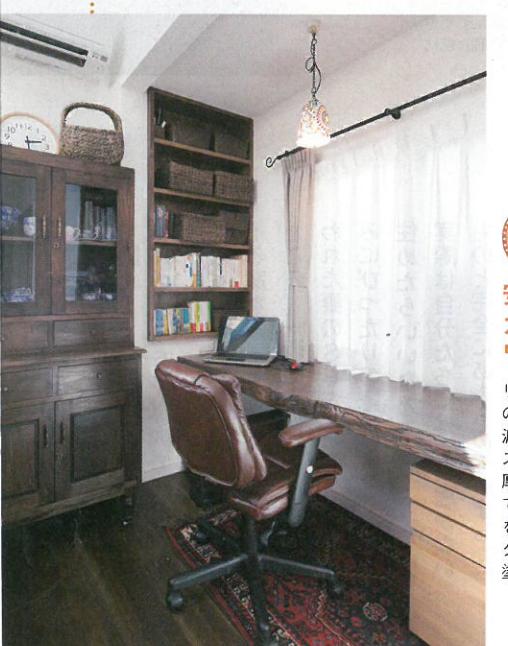


◎お金のやりくりのコツ◎



### 打ち合わせごとに見積もりを出し 常に正確な予算を把握

最初に決めた予算を、「諸経費も含めて絶対に超えない」と決めていたKさん。どんなに小さな変更でも、毎回見積書を出してもらうことにした。「予算内に収めることをテーマにしていたので、希望を通すかあきらめるか、その都度じっくり考えました」。その結果、納得の出来栄えの家をほぼ予算内で建てることができ、手元の資金を多めに残すこともできた。



### コスト ダウン

### 安価なスギ材の カウンターを設け ワークスペースに

リビングの奥まった一角の、壁と壁の間に一枚板を渡し、妻のSさんのワークスペースに。両サイドに壁厚を利用した本棚をつくっているので、作業スペースを広く残せている。カウンターは、手ごろなスギ材に塗装を施してコストダウン